

1.7GHz帯W-CDMA方式の実験局の予備免許を取得

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、2005年4月27日(水)に総務省に申請した1.7GHz帯周波数でのW-CDMA方式による第3世代携帯電話(3G)サービスのフィールド試験用実験局の予備免許を、本日、同省より取得しました。なお、1.7GHz帯の実験局の予備免許取得は、3Gサービスを提供している国内の携帯電話事業者として初めてとなります。

現在、ボーダフォンでは3Gサービスを2GHz帯の周波数で提供していますが、3Gサービス契約数の増加や、パケット通信料定額サービスなどにより、今後ますますトラフィックの増加が予想されます。従って、現在使用している2GHz帯の周波数だけでは不足する懸念があるため、新たな周波数の商用化を目指し、実験局の免許を申請しました。

この度の予備免許の取得により、実験局からの試験電波の送出が可能になることから、当社では直ちに試験予定地で実験局の設置工事を行い、試験電波による周波数特性の確認を行います。その後、落成検査を経て、実験局の本免許を取得する計画です。

また、実験局本免許取得後は、1.7GHz帯における電波伝搬特性やビルなどの建築物による遮へいの影響、ビル内への透過損失の測定など、フィールド試験を千葉県内にて約6か月間実施する予定です。

以上